※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料　COMPLETE(帝国書院)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理は暗記科目ではありません。確かに山脈や河川、国や都市など覚えなければならないものはありますが、覚えればなんとかなる教科というわけではありませんので、そのことは肝に銘じておいてください。地理で大事なことは「考える」ことです。「なぜここは降水量が多いの？」「なぜここに砂漠が形成されるの？」など、たくさんの「なぜ？」があります。習ったことを活かして、柔軟に考える力を身につけましょう。大事なのは思考力や判断力です。

２　学習の到達目標

① 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を効果的に調べて、まとめる技能を身に付ける。

② 地理に関わる事象の意味，相互の関連性などを，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間との関連性，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，地理的な課題の解決に向けて考える力や，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

③ 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現に向けて,そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，世界の諸地域の様々な生活文化を尊重しようとする自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，議論したりすることができる。	○知識及び技能を得たり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現をみすえてそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。
評価方法	出席状況 課題プリント 授業ノート 発表 学習の振り返り	定期テスト 課題プリント 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト（資料の読み取り） 資料の読み取り 学習の振り返り
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	○さまざまな地図があることを理解し、地図利用の可能性を考える。 ○GIS について理解し、その活用法を考える。	a:地図についての基本的事項を理解し、その知識を身に付けている。 b:GIS を操作し、計測した結果や主題図を表示している。 c:地図や GIS への関心を高め、作業などを通して、これらの特徴をとらえようとしている。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り
	結び付きを深める現代社会	○日本の位置と領域について理解する。 ○国境をこえた経済活動や政治的つながりなどが、人やモノ、情報などに大きな影響を及ぼしていることを理解し、グローバル化の進展について考察する。	a:　日本の位置と領域や、日本の領土問題についての事柄を理解し、その知識を身に付けている。 b:グローバル化で形成された地域経済圏などについて、多面的的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 c:日本の位置や領域に対する課題意識を高め、それらを意欲的に追究して、とらえようとしている。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り
2学期	生活文化の多様性と国際理解	○世界には、多様な文化が存在し、それが近年、均一化する傾向にあることを理解する。 ○地形や気候が地域によってどう異なるのか、それが人々の生活にどう影響を与えてきたのか考察する。 ○世界的諸地域が、地誌的にどう考察できるか把握するとともに、様々な国の文化や産業について理解する。	a:地図や統計・画像などの資料を集め、情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:世界各地で多様な地形や気候がみられることについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:さまざまな国の文化や産業の特徴について関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	○地球環境問題の背景や影響を理解し、その解決策を考察する。 ○地球規模で取り組むべき課題の特徴を確認し、解決に向けた取り組みを考える。	a:地球的課題についての知識を身に付けるとともに、地図などの資料を収集、選択して図表にまとめたりしている。 b:地球的課題について、日常生活や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:各国の状況にあった地球的課題に対する関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り
３学期	自然環境と防災	○日本列島の自然環境の特徴について、世界的視点からとらえ、地形と気候の両面から理解する。 ○自然災害が、生活や社会にもたらす影響をふまえて、防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考える。	a:日本列島の自然環境、自然災害について、基本的な事柄や追究の方法について理解し、その知識を身に付いている。 b:日本列島の地形や気候、自然災害について、地域性などとの関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:日本列島の自然災害や防災に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究して、とらえようとしている。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り
	生活圏の調査と地域の展望	○調査する地域の手順や具体的方法を理解し、身近な地域において調査を実践する。	a:調査する地域の手順ならびに注意することを理解している。 b:身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、分かった事を適切に表現している。 c:身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域の調査に取り組もうとしている。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度